

金ヶ崎に車部品物流拠点

来春以降、地元雇用も

カリッー東日本

自動車部品輸送のカリッー東日本(愛知県安城市、資本金1千万円、吉富裕亮社長)は、金ヶ崎町六原に北東北で初の物流センターを新設する。県南部で進む自動車産業の集積に合わせ、主に愛知県から輸送された電子部品などを保管する倉庫1棟(床面積約6600平方メートル)を構える。来年4月以降の稼働を予定し、積極的な地元雇用の創出も見込んでいる。

倉庫は、同町の北部地区生涯教育センター西側の民有地2・3畝に新設。7日に建設予定地で新築工事安全祈願祭を行う。土地購入費を含めた総事業費は約13億円。

同県から輸送された部品の保管や中継の機能を担う。自動車の電子部品の中には熱に弱い物もあり、倉庫は温度調節の機能も備える。

同社は自動車部品輸送のカリッー(同県)の100%子会社で、同町には既に岩手営業所を構えている。

カリッーは関東、中部、関西などに拠点を設け、物流事業を展開。全国のネットワークを生かし、同町の工業団地に立地する自動車部品メーカーなどの取引拡大を目指す考えだ。

い、東北への自動車関連企業の立地が進む中、物流効率化のため、県南部では倉庫業や物流業の需要が高まっている。

カリッー営業管理部営業企画室の杉原光洋室長は「東北で自動車の増産が大きく進む中、金ヶ崎での倉庫新設はビジネスチャンスと捉える。岩手の拠点とするため地元の方々の協力をいただき、積極的な雇用を目指している」とする。

